

需要獲得

ものづくり

# 株式会社タカギセイコー

長野県中野市

## 輸出比率70%。80カ国以上に展開する グローバルニッチトップの眼科医療機器専門メーカー

創業66年。開発・製造・販売・メンテナンスを一気通貫で行う眼科医療機器専門メーカー。主力のスリットランプ(眼球に光を当て、疾患の有無を診察)は国内外で売上高13億円を誇るグローバルニッチトップ企業であり、1972年から海外に展開し、世界80カ国以上に「Made in Nagano」の製品を輸出している。新型コロナウイルスの拡大で遠隔診療のニーズが高まるなか、新たにスマートフォンを使用して簡易的な遠隔診療を行うシステムをいち早く開発し、発展途上国等で重宝されている。

所在地 長野県中野市岩船330-2  
電話/FAX 0269-22-4511/0269-26-6321  
URL <https://www.takagi-j.com/jp/>  
代表者 代表取締役社長 高木 一成

設立 1955年  
資本金 3,000万円  
従業員数 190人



### 業界に先駆けてLED搭載の「スリットランプ」を発売

同社のスリットランプマイクロスコープは、国内でトップ3のシェア(国内メーカーでは1位)を誇る。2014年に業界に先駆けて光源にLEDを採用し、高輝度のスリット光を実現することで、従来診察することが困難だった患部を鮮明に写すことを可能とした。LEDは高輝度にもかかわらず低電力のため経済的にも優れており、売上高は国内外で13億円を超える。また、同製品の高い耐久性(故障が少ない)と信頼性は、海外において高い売上を誇る背景となっている。



主力製品のスリットランプを用いた診察

### 下請けから脱し、高性能・高信頼性のオリジナル商品で世界80か国に展開

医療機器、釣具などの製造下請けから、1971年に自社ブランドの眼科診査用機器を開発。早くも1972年から海外市場に参入。主に国際展示会を起点として各国で代理店を開拓・展開。世界80カ国以上で販売し、輸出比率は約70%。近年では新たにブラジルで取引を開始し、アフリカ進出も試みる。眼科用レーザーの世界トップシェア企業であるエレックス社(オーストラリア)と協働し、同社の主力製品であるスリットランプを供給する等、高性能・高信頼性で、グローバルに極めて高い信頼を得ている。



世界80か国以上で眼科医療を支える

### スマートフォンを活用した遠隔診療により新型コロナウイルス感染拡大に対応

スマートフォンを活用して、眼科以外の医師や看護師などが目の様子を撮影し、遠隔地から眼科医に送信できる機器「MS1モバイルスリットランプ」をMITAS Medical社と共同で開発(2020年10月資本提携)。同製品は2020年9月発売以来、大病院や発展途上国で導入され、新型コロナウイルスの感染拡大で遠隔診療のニーズが高まるなか、さらなる需要と貢献が期待される。加えて国内はもとより、アジア・アフリカなど、眼科医療が行き届いていない地域に製品を供給することで、さらなる社会貢献を果たしていく。



MS1モバイルスリットランプ